

## 東急アライアンスプラットフォーム2022Demo Dayを開催 ～最優秀賞は株式会社クラダシが受賞～

東急株式会社

当社は、3月14日(火)にShibuya Open Innovation Lab(以下、SOIL)において、スタートアップを中心とした企業との事業共創を推進する「東急アライアンスプラットフォーム」(以下、TAP)の2022年度Demo Day(以下、デモデー)を開催しました。今年度のデモデーでは、「東急賞」「渋谷賞」「二子玉川賞」「SOIL賞」「オーディエンス賞」を決定し、最優秀賞にあたる「東急賞」には、株式会社クラダシを選定しましたので、お知らせします。

株式会社クラダシは、ミッションを「ソーシャルグッドカンパニーでありつづける」、ビジョンを「日本で最もフードロス削減する会社」と掲げ、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう可能性のある商品などをお得な価格で販売する、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を運営しています。

事業共創を行う株式会社東急モルズデベロップメントとは、2022年3月以降、株式会社東急モルズデベロップメントが運営する4つの商業施設で「Kuradashi」POPUP SHOPを開催しており、2023年5月下旬にはオンラインとオフラインを連携させたフードロス削減を目指し、地域密着型商業施設たまプラーザ テラスに「Kuradashi」初となる常設店舗の出店を予定しています。

デモデーでは、審査員による協議の結果、フードロス削減に課題を抱えている食品を扱う事業者と幅広く接点をもつ東急グループとの親和性の高さ、このサービスを通じて利用者が意識せずに社会貢献活動に参画でき、持続可能な社会の実現への寄与が期待できることから、東急賞に選定しました。

そのほかの4社とも、東急グループの事業資産を活用したテストマーケティングなどの結果を踏まえ、業務提携などを検討します。また、今回東急グループの参画事業者22社のうち、最も積極的に応募企業との事業共創に取り組んだ事業者を表彰する「ベストアライアンス賞」では、株式会社東急モルズデベロップメントを選定しました。

当社は、2015年度から、スタートアップ企業などとの事業共創を図る「東急アクセラレートプログラム」を実施しており、2021年度には「東急アライアンスプラットフォーム」に名称変更およびリブランディングを行うなど、スタートアップ企業などから選ばれ続けるオープンイノベーションプラットフォームを目指して進化を続けてきました。これまで、累計992件の応募があり、うち103件のテストマーケティングや協業、うち36件の事業化や本格導入、7件の業務・資本提携が実現しています(2023年3月15日時点)。

TAPが開始してから8年目を迎える2022年度は、オウンドメディア「TAP Library」を通じて、テストマーケティング後も継続して事業化に取り組んでいる事業共創について取り上げ、発信力の強化に注力してきました。こうした取り組みの結果、20件の協業が実現し、そのうち、今後事業共創の発展が特に見込める5社をデモデー登壇企業として選定しました。

2023年度は、東急グループの既存事業の課題解決だけでなく、新たな事業創出に向け、社内外と連携した実証実験を推進することで、世の中の多様化するニーズに迅速に対応し、当社ならではの社会価値を提供することで、サステナブルな街づくりを推進していきます。

詳細は別紙のとおりです。

以 上



▲「東急アライアンスプラットフォーム2022」Demo Day授賞式の様子

## 【別紙】

### 「東急アライアンスプラットフォーム2022」 Demo Day開催概要および受賞企業

#### ■開催概要

- ・日 程: 2023年3月14日(火) 14時30分～17時30分
- ・場 所: Shibuya Open Innovation Lab(SOIL)  
(住所/東京都渋谷区渋谷一丁目13番9号 渋谷たくぎんビル7階)

#### ■受賞企業

- ・東急賞(賞金1,090,000円):株式会社クラダシ
- ・渋谷賞(賞金428,000円):株式会社アジラ
- ・二子玉川賞(賞金250,000円):ノウズ株式会社
- ・SOIL賞(賞金100,000円):SUSHI TOP MARKETING株式会社、AXELL株式会社
- ・オーディエンス賞(賞金200,000円):株式会社クラダシ

#### ■審査員

##### (外部審査員)

- ・SBIインベストメント株式会社 執行役員 CVC事業部長 加藤 由紀子 氏
- ・株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 総合企画室 コーポレートベンチャーキャピタル担当 岸 裕一郎 氏
- ・デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社 Morning Pitch 運営統括 永石 和恵 氏

##### (当社審査員)

- ・東急株式会社 取締役社長 社長執行役員 高橋 和夫 (審査員長)
- ・東急株式会社 常務執行役員 フューチャー・デザイン・ラボ管掌 東浦 亮典

#### ■東急グループ内表彰

- ・ベストアライアンス賞:株式会社東急モルズデベロップメント

#### ■Demo Day登壇企業との事業共創内容(五十音順)

##### 1. SUSHI TOP MARKETING株式会社

###### 【共創企業:東急電鉄株式会社】

- ・所在地: 東京都千代田区丸の内2-3-2郵船ビルディング1階
- ・代表者名: 徳永 大輔
- ・設立年月: 2021年10月
- ・サービス名: トークングラフマーケター
- ・会社URL: <https://www.sushitopmarketing.com/>



###### 【事業共創内容】

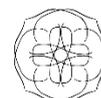
NFTの配布と企画に特化して企業のNFTマーケティングを支援するSUSHI TOP MARKETING(以下、「SUSHI TOP」)は、NFTを簡単に受け取れる「NFT Shot」の開発や、一度配信したNFTに対して新たなNFTをリターゲット配信するためのシステム提供などを通じて世の中にNFTを普及させ、トークングラフマーケティングという新しいマーケティング手法の確立を目指しています。東急電鉄株式会社(以下、「東急電鉄」)は新たなデジタル顧客接点の獲得を目的として、SUSHI TOPの「NFT Shot」などを活用し、東急新横浜線開業を記念した鉄道車両やヘッドマークなど4種類の限定デザインNFTの無料配布を3月18日から実施します。合わせて特設サイト「TOKYU RAILWAYS NFT PROJECT」を公開し、NFT所有者のみ楽しめる限定映像などの特典コンテンツも順次公開する予定です。

※詳細は東急電鉄リリース参照: [https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=post\\_483.html](https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=post_483.html)

##### 2. AXELL株式会社

###### 【共創企業:東急株式会社】

- ・所在地: 東京都渋谷区道玄坂1-15-3 プリメーラ道玄坂718
- ・代表者名: 大谷 宜央
- ・設立年月: 2019年12月5日
- ・サービス名: TRIAD謎解き
- ・会社URL: <https://axell.tokyo/index.html>



A X E L L

### 【事業共創内容】

‘魅惑的最高のエンターテインメント体験で人生を豊かに’をミッションに、コミュニティサービスを生み出しているAXELLは、地方創生、社会問題などを謎解きを通して、楽しみながら改善していく「TRIAD」を展開しています。2022年10月から2023年3月26日まで、東急株式会社・上田電鉄株式会社と共同で、長野県上田市の「信州上田別所線謎解き～失くした記憶と忘れられた龍～」を企画実施しています。また、2022年12月から2023年6月30日まで、東急グループ創立100周年記念イベントとして、謎解き「時の魔女と100の約束」を実施しています。「未来とノスタルジー」をテーマにARやIoTといった新たなテクノロジーを駆使して、東急グループ創立100周年にまつわるグループ発展の歴史を感じ、街の新たな魅力を発見しながら、東急線沿線を周遊する体験型謎解きイベントです。今後はAXELLと東急株式会社で、周遊型の謎解きを通して、エリアや各地域の特徴を知っていただき、魅力を感じていただける体験を提供していきます。

### 3. 株式会社クラダシ

【共創企業:株式会社東急モールズデベロップメント】

- ・所在地: 東京都品川区上大崎3-2-1 目黒センタービル5F
- ・代表者名: 関藤 竜也
- ・設立年月: 2014年7月7日
- ・サービス名: Kuradashi
- ・会社URL: <https://corp.kuradashi.jp/>

The logo for Kuradashi features the word "Kuradashi" in a bold, orange, sans-serif font. The letter "K" is stylized with a red and orange gradient.

### 【事業共創内容】

ミッションを「ソーシャルグッドカンパニーでありつづける」、ビジョンを「日本で最もフードロス削減する会社」と掲げるクラダシは、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう可能性のある商品などをお得な価格で販売する、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を運営しています。2022年3月に青葉台東急スクエアで催事を開催したことを皮切りに、2022年10月から11月にかけては東急モールズデベロップメントが運営する4つの商業施設で「Kuradashi」POPUP SHOPを開催しました。2回目の開催となる青葉台東急スクエアでは、フードロス削減のコツをオンライン/オフラインの両方で投稿する企画を通じて、食品ロス削減のムーブメントを醸成するユーザーの行動変容を促しました。今後は、2023年5月下旬に地域密着型商業施設たまプラーザ テラスに「Kuradashi」初となる常設店舗を出店し、フードロス削減活動を日常生活に取り入れる仕組みづくりによって「社会にいいこと、街にいいこと」の実現を目指していきます。

### 4. ノウンズ株式会社

【共創企業:株式会社東急エージェンシー】

- ・所在地: 東京都新宿区新宿4-3-15
- ・代表者名: 田中 啓志朗
- ・設立年月: 2019年12月3日
- ・サービス名: Knowns Biz
- ・会社URL: <https://knowns.co.jp>

The logo for Knowns features the word "Knowns" in a black, handwritten-style script font.

### 【事業共創内容】

“あらゆる人に、データという武器を。”をミッションに、億単位の消費者意識データを保有するノウンズは、簡単な操作で誰でも高度な分析が可能な消費者データ分析プラットフォーム「Knowns Biz」を提供しています。今回は、株式会社東急エージェンシーが開発した独自のファネル分析やブランディングフレームと、ノウンズがもつ消費者ビクデータを掛け合わせ、データ取得から分析までをクラウド上で行える新サービスの共同開発を行っています。この共創によるPoCを経たのち、今後開発予定の新サービスを活用したデータビジネスの共同事業化を目指します。

### 5. 株式会社アジラ

【共創企業:東急セキュリティ株式会社】

- ・所在地: 東京都町田市中町1-4-2
- ・代表者名: 木村 大介
- ・設立年月: 2015年6月1日
- ・サービス名: AI警備システム「アジラ」
- ・会社URL: <https://www.asilla.jp/>

The logo for asilla features the word "asilla" in a bold, purple, sans-serif font. Above the letter "a" is a red, stylized sunburst or crown-like graphic. Below the word "asilla" is the tagline "Technology driven future" in a smaller, purple, sans-serif font.

## 【事業共創内容】

世界トップクラスの行動認識AI技術を有するアジラは、既存の防犯カメラをそのまま活用して異常行動や不審行動を検知可能なAI警備システムを提供しています。2022年7月には、東急電鉄渋谷駅内の5台の防犯カメラを使い、駅構内でのお客さま同士のトラブルや急病人・異常行動の予兆などを検知する実証実験を行いました。その結果、禁止エリアへの侵入検知において、AI警備システムと警備員が連携した運用体制の確認を複数回行うことができたとともに、高い侵入検知精度を確認できました。今後は東急グループへのさらなる展開を目指すとともに、東急セキュリティが目指す「沿線地域の安全・安心」の実現に向けた事業共創を推進します。

## 【参考】

### ■「東急アライアンスプラットフォーム」について

#### (1)概要

2015年度から、スタートアップ企業などとの事業共創を図る「東急アクセラレートプログラム」を実施し、2021年8月より「東急アライアンスプラットフォーム」に名称変更およびリブランディングを行いました。

「交通」「物流・倉庫」「不動産」「建設」「百貨店・スーパー・ショッピングセンター」「広告・プロモーション」「デジタルマーケティング」「カード・ポイント・ペイメント」「スマートホーム・スマートライフ」「ツーリズム」「ホテル・ホステル」「エンターテインメント」「スポーツ」「ヘルスケア」「教育・カルチャー」「電力」「セキュリティ」「デジタルプラットフォーム」「脱炭素・サーキュラーエコノミー」の19の事業領域を中心に、東急線沿線の生活利便性を高めるBtoC、BtoBtoCのサービスやプロダクトを募集しています。19の事業領域で掲げられたニーズにマッチする企業とは、東急グループの事業資産を活用したテストマーケティングなどを実施、その結果により東急グループ各社との業務提携なども検討します。

東急アライアンスプラットフォームは24時間365日応募受付をしており、応募月の翌月中旬には検討結果を一次回答しています。

なお、2022年度デモデー各賞受賞対象企業は、今年度、テストマーケティングなどの事業共創を開始、もしくは実施することが決定した企業を対象です。デモデー後は、引き続き事業共創を進めていく予定です。

#### (2)累計協業数(2023年3月15日時点)

	TAP	外部プログラムなど※	合計
協業数	103件(実施決定の5件を含む)	11件	114件
うち事業化・本格導入数	36件(実施決定の2件を含む)	2件	38件
うち業務・資本提携数	7件	1件	8件

※TAP事務局が連携するコンソーシアム型プログラムや他社プログラムなどをきっかけとした案件

#### (3)オウンドメディア「TAP Library」

TAP Libraryでは、東急グループが抱える課題やニーズの背景、取り組み事例の裏側、各種イベントレポートなど、TAPに関連する情報をより詳細な形で発信しています。TAPを通じて生まれた事業共創事例を中心に取り上げ、共創の背景や裏側を伝える「Case」、TAP参画事業者について取材し、TAPやTAP参画事業者が目指している未来やその実現に向けたニーズを伝える「Interview」、DemoDayやその他のイベント参加レポートを掲載する「Report」の3つで構成されています。

DemoDayに登壇した企業のその後の取り組みについての取材記事は「Case」に掲載しています。

- ・ オンライン物産展で協業 鍵は商品選定とタイミング | エドノイチ × 東急百貨店  
URL: <https://tokyu-ap.com/library/case/05.html>
- ・ 工具照合自動化ツール「工具ミッケ」が仕掛ける、建設現場のDX。オープンイノベーションで描く東急建設初のビジネスモデルとは | アイリッジ × 東急建設  
URL: <https://tokyu-ap.com/library/case/06.html>

(4) 東急アライアンスプラットフォーム参画企業一覧(全22社※五十音順)

- ・ イッツ・コミュニケーションズ株式会社(2022年度から参画)
- ・ Connected Design株式会社
- ・ 株式会社SHIBUYA109エンタテイメント
- ・ 東急株式会社
- ・ 株式会社東急エージェンシー
- ・ 東急カード株式会社
- ・ 東急建設株式会社
- ・ 株式会社東急シェアリング
- ・ 東急ジオックス株式会社(2022年度から参画)
- ・ 株式会社東急ストア
- ・ 東急スポーツシステム株式会社
- ・ 東急セキュリティ株式会社
- ・ 株式会社東急総合研究所
- ・ 東急電鉄株式会社
- ・ 東急バス株式会社(2022年度から参画)
- ・ 株式会社東急パワーサプライ
- ・ 株式会社東急百貨店
- ・ 東急不動産株式会社
- ・ 東急不動産ホールディングス株式会社
- ・ 株式会社東急ホテルズ
- ・ 株式会社東急モールズデベロップメント
- ・ 株式会社東急レクリエーション

以 上